

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり～	
政策1 創意と活力に満ちた心豊かな教育環境づくり	本文P56～58

基本方針	新しい時代を担う子どもたちが、変化の激しい社会を生きぬくため、創意と活力に満ちた特色ある教育環境を整備するとともに、心豊かな人間性を培う教育を推進します。また、地域資源を教育教材として活かしたふるさと教育など地域に根ざした教育を推進します。
------	--

1-3-1-① 幼児教育の充実	担当課	学校教育課
-----------------	-----	-------

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○小学校の運動会等各種行事や地域行事に積極的に参加し、ふるさと教育などの取り組みを行った。</p> <p>○幼稚園教諭においては、島外での各種研究協議会・研究大会等へオンライン出席も含め、積極的に参加した。また、町立2幼稚園合同研修会等を開催し、教諭等の指導力や資質の向上を図るとともに、幼児教育の充実を図った。</p>	
SDGsとの関係性	 	<p>【選定理由】</p> <p>全ての児童生徒に公平で質の高い教育を提供し、持続可能な社会を実現していくことを目指す。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○少子化により園児数の減少が急激に進む中、魚目幼稚園を令和5年3月末で閉園とした。青方・有川幼稚園の2園においても、園児数が少なくなってきている状況であり、両園の統廃合によるさらなる幼児教育充実も課題となっている。</p>	
今後の取組方針	<p>○園児数の減少による幼稚園の統廃合や児童数の減少による小学校等の統廃合など、これからは地域の実情に即したきめ細やかな連携を図る必要がある。小学校・町立保育所・私立保育園と連携した研修会等の開催を検討し、幼児教育の充実や推進・職員の資質の向上を目指す。</p>	

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率
					上段:目標値/下段:実績値	R2	R3	R4	R5	
1 ひと	幼稚園職員独自研修会	実施回数	回	3	3	3	3	3	3	66.7%
					2	2	2	2	2	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	学校教育課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	令和6年度の町独自の研修としては、6月27日の有川幼稚園での公開保育の実施や2月25日に新魚目支所で開催した青方・有川幼稚園の研究発表・協議を通して、町職員の更なる資質向上に努めた。また、町内外で開催された各種研修会等にも積極的に参加することができた。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									C
	3回実施の目標に対し2回実施と目標達成はできていない状況が長く続いているが、幼稚園教育の充実の重要な取組みとして、引き続き職員研修を行うことにより、職員の意識の高揚、指導力の向上を図ることが求められる。									R5
	②必要な取組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載									C
独自研修会の実施回数もさることながら、その研修内容等の充実をはじめ、多様化する課題に取り組んだ研究事例発表や研修会等に多くの職員が参加できるよう努めることにより、見識を深めるとともに、幼稚園・保育所の垣根を越えた職員間の連携、小学校との連携を更に図っていく。									R6	
									C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○国が求める資質・能力を子どもたちに確実に身につけさせることを目指し、教職員の資質や指導力の向上を目指した取組を推進してきた。令和6年度まで、具体的な取組として、授業改善に係る各種研修会の実施や学校訪問等における指導助言、県教育委員会指定研究の実践を行ってきた。また、各種学力調査の結果を基に、課題の把握と課題改善を図る手立てを考え、教職員の授業改善へと繋げることができるようにしてきた。</p>	
SDGsとの関係性	 	<p>【選定理由】 全ての児童生徒に公平で質の高い教育を提供し、持続可能な社会を実現していくことを目指す。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○新学習指導要領の完全実施、GIGAスクール構想実現に向けたの教職員への啓発、学力向上に向けての授業改善は、全ての学校でしっかりと行われている。 ○「学びに向かう力」の育成を目指し、県から示された「授業改善メソッド」や「学びの習慣化メソッド」を活用しながら、授業と授業外での学びの充実を目指した実践が進んでいる。 ○授業改善に取り組み、子どもたちに確かな学力を身につけさせたいという教職員一人一人の意識の向上が図られている。</p>	
今後の取組方針	<p>○これまでの研究で築かれた各校の効果的な取組や、これから取り組んでいこうとする研究を町全体に拡充し、全学校で実践を深めていけるようにする。 ○県教委主催の研修会への積極的な参加と町内での研修会及び学校訪問等を通して、指導の充実と徹底を図る。 ○教職員一人一人が興味や関心をもって、積極的に自己研鑽ができるよう啓発を行っていくとともに、ICTを活用しながら各種研修会や最新の教育情報等の提供に努める。</p>	

### 2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率
					上段:目標値/下段:実績値	R2	R3	R4	R5	
	全国学力・学習状況調査(小学6年生)	県平均を100%として算出	%	100.6	100.6	102.0	102.0	102.0	102.0	100.0%
					—	102.2	109.5	99.0	104.7	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	学校教育課				R2
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									D
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
1 ★ ひと	令和6年度の全国学力・学習状況調査(小学6年生)においては、県平均を国語が5ポイント、算数が1ポイント上回った。国語では、「読みとったことをまとめて書くこと」、「考えを工夫して表現すること」の項目値が特に高かった。児童質問紙では、授業に関する「自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対しては、「よくしている・している」と答えた児童の割合が90.7%であった。これは、県を12ポイント、全国を9ポイント大幅に上回っており、主体的に学びに向かわせる仕掛けや取組が、学力向上につながりつつあると考える。その一方で、算数の小数計算や道のりと時間の関係、円周に関する問題等を苦手とする傾向が見られた。(※全国学力・学習状況調査結果【国語/全国67.7、県67、町72】、【算数/全国63.4、県62、町63】)									A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									A
	「学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする意識や機会」があまり高くないことが、質問結果から伺える。学校と家庭での学びの往還や社会とのつながりが必然となる授業改善を確立し、思考力や表現力、学びに向かう力を一層育成する必要がある。									R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C
	国語や算数だけでなく、全教科の授業で、学習内容を自分事にするための仕掛けと、児童が分からないことがあった時の学び方や解決方法を踏まえた授業づくりが重要であると考え。令和の長崎スクール事業と関連づけ、町教委主催の教員を対象とした研修会において、このことに注力していく。									R6
										A

## 2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
	全国学力・学習状況調査(中学3年生)	県平均を100%として算出	%	98.3	98.3 —	100.0 98.3	100.0 100.0	100.0 101.0	100.0 98.1	0.0%	
2 ★ ひと	《成果指標の進捗状況》				担当課	学校教育課				R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										D
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	令和6年度の全国学力・学習状況調査(中学3年生)においては、県平均を国語が1ポイント上回ったものの、数学では3ポイント下回った。平均を下回った数学においては、「データの分析と説明」、「数学的な事象の解釈」、「筋道を立てた証明」に関わる数値が顕著に低かった。中でも図形の説明問題では、県平均を14ポイント、全国平均を20ポイント下回った。多くの項目の結果から、「根拠をもって自分の考えを説明・表現する力」の必要性が共通して見られる。その背景には、基礎的な知識理解の課題もあると考えられる。日々の授業の中で、個別最適な学びの重要性が一層求められる。(※全国学力・学習状況調査結果【国語/全国58.1、県56、町57】、【算数/全国52.5、県49、町46】、3年に1度の英語と理科は、昨年度は実施がなかった。)										C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	<u>①課題</u>										A
	質問紙から、97%の生徒が国語の勉強は大切だと答えている中、好きだと答えたのが約7割。88%の生徒が数学の勉強は大切だと答えている中、好きだと答えたのが約4割。少なからず、教科の魅力や好きな気持ちの有無が、生徒の資質・能力を育成する上で大きな入口になっていると伺える。各教科を好きにさせる継続的な手立てが、課題解決の突破口の1つになると考える。										R5
<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										A	
さまざまな理解度の生徒がいる中で、「わかった！できた！」等の学びの喜びを日常化し、各教科で多くの生徒に有用感を抱かせる授業改善や学習支援に努めることが重要だと考える。その伴走の先に、生徒の学びの自走が芽生えてくる。										R6	
										C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

<b>これまでの取組</b>	<p>○老朽化の進む学校施設等においては、令和2年度に策定した学校施設等長寿命化計画に沿って、学校施設等の計画的な改修等を行っている。また、教職員住宅については、修繕を行うとともに老朽化が著しい教員住宅については、計画的に解体を行っている。</p> <p>○令和2年度に、児童生徒1人1台タブレット端末の導入、高速大容量通信ネットワーク環境を整備し、令和6年度にはAIドリルの導入し、これらを活用したICT教育の推進に向け取り組んでいる。</p> <p>○令和4年度には、社会科学習の教材及びふるさと教育の充実を図るため、社会科副読本WEBサイトを制作し、地域の歴史・文化など、地域への理解を深める教育に取り組んでいる。</p>	
<b>SDGsとの関係性</b>	 	<p>【選定理由】</p> <p>全ての児童生徒に公平で質の高い教育を提供し、持続可能な社会を実現していくことを目指す。</p>
<b>評価(問題点とその要因)</b>	<p>○児童生徒が安全で安心して学べる教育環境の整備を図るため、校舎の改修として、令和6年度は、上五島中学校音楽室への空調機器の設置を計画していたが、学校給食センター建設事業などの設計等に追われたこともあり、年度内の完成ができなかった。</p> <p>○ICT教育の推進を図るため、令和3年度からタブレット端末等を有効活用した授業を開始、令和4年度からICT支援員を配置し、ICTを活用した指導力の向上に努めている。</p>	
<b>今後の取組方針</b>	<p>○学校施設等において、児童生徒が安全で安心して学べる教育環境の整備を図るため、今後も維持修繕を行いながら、今後も計画的な改修に取り組んでいく。また、今後も計画的に老朽化した教職員住宅の維持補修、解体を行っていく。</p> <p>○「GIGAスクール構想の実現」に向け、1人1台タブレット端末及び高速通信の整備を有効活用するため、今後もICT支援員を配置やAIドリルを継続し、更なるICT教育の推進を目指す。</p>	

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
1 ひと	学校施設長寿命化計画に基づく計画的な施設整備	学校施設の維持管理・整備の割合	%	—	100	100	100	100	100	50.0%
	《成果指標の進捗状況》					担当課	学校教育課			
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	令和6年度は、上五島中学校音楽室への空調設置を計画していたが、学校給食センター建設に係る業務等により、年度内の完成ができなかった。各学校からの小規模修繕については、緊急度を優先し、その修繕に取り組んでいるものの老朽化等により修繕箇所は増加している。									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	①課題									
	今後、統廃合計画や町財政状況等を踏まえ、必要に応じた長寿命化計画の見直しが必要である。									
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
	老朽化が進む学校施設については、児童生徒の安全な学習環境を図るため、維持補修等を行いながら、令和2年度に策定した学校施設等長寿命化計画の見直しを行いながら、必要に応じた学校等施設等の整備に取り組んでいく。									
									各年度の評価	
									A	
									R3	
									A	
									R4	
									A	
									R5	
									A	
									R6	
									C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○本町のふるさと教育は、「ふるさと『新上五島町』への理解を通して、誇りと愛着をもち、島の未来を守り、創る児童生徒の育成」を目指し実施している。</p> <p>○具体的には、小中学校の総合的な学習の時間において、探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「ひと、もの、こと」に係る学習、地元企業や商工会、起業家、町部局と連携した職業体験学習プログラム等を実施し、ふるさとのよさ、魅力を学んできた。</p> <p>○令和6年9月には、幼児期から高等学校まで関連づけた「総合的な学習(探究)の時間」のカリキュラムを含んだ「ふるさと教育」の推進という冊子を発行し、町内幼稚園・全学校で系統性・一貫性をもった「ふるさと教育」が展開できるよう努めた。</p>
SDGsとの関係性	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <b>【選定理由】</b>                      全ての児童生徒に公平で質の高い教育を提供し、持続可能な社会を実現していくことを目指す。                 </div> </div>
評価 (問題点とその要因)	<p>○ふるさとのよさや魅力、地域の人々の工夫や温かさに触れ、ふるさとへの愛着や誇りを育むふるさと教育は、幼・小・中・高までを想定した「構想図」を提示したことで、意識の高まりがみられ、学校現場において系統的な実践が浸透してきた。</p> <p>○ふるさと教育を通して、「ふるさとへの愛着や誇りをもち」ことだけに留めるのではなく、ふるさとが抱える課題に気づき、解決に向けて思考する当事者意識やこれからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を身につけさせることができるかが課題である。</p> <p>○「キャリア・パスポート」を活用し、ふるさと教育との関連を図り、引継ぎを確実に実施する。</p>
今後の取組方針	<p>○「ふるさと教育カリキュラム」に基づき、各小・中学校における充実した実践を行うと同時に、常に「ふるさと教育カリキュラム」の見直しを図りながら、「ふるさと教育」の更なる充実を図る。</p> <p>○これまで同様、多様な体験・交流活動をとおして、地域の魅力や課題を学ぶことで、地域社会への愛着と誇りを育んだり、実践的な学び(地域の課題解決に向けたアイデアを実践する活動等)をとおして、課題解決能力を養ったりしていく。併せて、地域社会に積極的に関与し、持続可能な社会の構築に寄与する力を育成していく。</p>

### 2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
	新上五島町に愛着を持つ小学6年生	意識度調査にて「好き」と答えた児童生徒数割合	%	92.8	93.0 92.1	94.0 94.0	95.0 95.0	96.0 94.8	97.0 93.3	12.0%	
1 ★ ひと	《成果指標の進捗状況》				担当課	学校教育課				R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	幼稚園から高校までの「ふるさと教育」全体構想をもとに、地域の歴史、文化、自然、産業について深く学び、体験する活動を取り入れるなどふるさとに愛着を持つ児童の育成に努めた。実績値が下回った理由は、児童がふるさとの実情を知り、現状の課題や不便さについて理解を深めたという反動から目標値まで届かなかった結果と捉えている。ただ、これまでの学習した成果は、将来児童が中、高校生と成長していく過程においてふるさとへの愛着として深く心に刻まれていくと期待が持てる。										A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										A
	「愛着」を育むためには、幼稚園から高校までの一貫した「ふるさと教育」の取組みは今後も強化していく必要がある。自分とふるさととのつながりを確立した児童の姿を事例として具体的に示す取組みなどが必要である。										R5
②必要な取組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載										C	
「ふるさと教育カリキュラム」を活用した学習を継続して展開し、子どもたちが主体的に地域を知り、よさに気づき、ふるさとへの当事者意識を持って活動できるよう支援体制を構築していく。										R6	
										C	

### 2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
2 ★ ひと	新上五島町に愛着を持つ中学生	意識度調査にて「好き」と答えた児童生徒数割合	%	91.8	93.0	94.0	95.0	96.0	97.0	36.5%	
					90.4	92.0	93.0	90.3	93.7		
	《成果指標の進捗状況》					担当課		学校教育課			R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										
	幼稚園から高校までの「ふるさと教育」全体構想をもとに、地域の歴史、文化、自然、産業について深く学び、体験する活動を取り入れるなどふるさとに愛着を持つ生徒の育成に努めた。実績値が下回った理由は、生徒がふるさとの実情を知り、中学生として課題解決のために貢献できる具体的方策までたどり着けなかったという反動から目標値まで届かなかった結果と捉えている。ただ、これまでの学習した成果は、将来生徒が成人してふるさとへの愛着として深く心に刻まれていくと期待が持てる。										
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組み										
	<u>①課題</u>										
	中学生において、「ふるさとの課題」を知り、「解決しようとする」探究的な学びを継続的に推進し、その成果として自分とふるさとのつながりを確立した生徒の姿を事例として具体的に示す必要がある。										
	<u>②必要な取組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載										
幼稚園から高校までの一貫した「ふるさと教育カリキュラム」をもとに、連携・継続した学びを展開する。探究的な学びとなるよう、子どもたちの意見やアイデアを尊重し、活動に反映させ、課題解決を図っていく。											
各年度の評価											
C											
R3											
C											
R4											
C											
R5											
C											
R6											
C											

### 2-3. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
3 ★ ひと	「ふるさと教育」の実施回数(小学校)		回	124	200	200	200	200	200	100.0%	
					195	373	524	739	1,128		
	《成果指標の進捗状況》					担当課		学校教育課			R2
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										
	令和6年度も引き続き、幼稚園から高校までを想定した「構想図」を念頭に置き、「ふるさと教育」を推進することができた。地域の歴史、文化、自然、産業について深く学ばせ、実際に体験する活動を取り入れるなど、多くの活動を「ふるさと教育」と関連させて指導することができた。併せて、社会科副読本(web版)の更新について研修会も開催した。実施回数は目標値を上回っているが、その内容等の充実を向上していかなければならない。										
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組み										
	<u>①課題</u>										
	引き続き、幼、小、中、高の連携を図りながら、「人・もの・こと」とのふれあいを通して、「ふるさとの魅力を味わうこと」「ふるさとのよさを発信すること」ができる活動内容の充実を向上させる必要がある。										
	<u>②必要な取組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載										
社会科副読本(web版)の地図や統計資料の更新等、ふるさと学習において使いやすさを考慮した改訂や小学生段階でふるさとのよさや魅力を十分に味わわせ、「ふるさと教育」を学んでいることは将来の自分にとって重要であることを理解させる教育に向け、指導・助言を行っていく。											
各年度の評価											
B											
R3											
A											
R4											
A											
R5											
A											
R6											
A											

### 2-4. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
4 ★ ひと	「ふるさと教育」の実施回数(中学校)		回	47	300	300	300	300	300	100.0%
					273	504	607	585	565	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	学校教育課				R2
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	令和6年度も引き続き、幼稚園から高校までを想定した「構想図」を念頭に置き、「ふるさと教育」を推進することができた。地域の歴史、文化、自然、産業について深く学ばせ、実際に体験する活動を取り入れるなど、多くの活動を「ふるさと教育」と関連させて指導することができた。実施回数は目標値を上回っているが、その内容等の充実を向上していかなければならない。									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組み									
	<u>①課題</u>									
	幼・小・中・高の連携を図りながら、「人・もの・こと」との触れ合いをとおして、町の課題を知り、自らも企画し、高い志を持ち、ふるさとの課題解決を生み出す主体性を育てる取組みを強化していく必要がある。さらに、起業家精神を備えた人材の育成に取り組む中学校の実践拡大についても充実させていく必要がある。									
	<u>②必要な取組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載									
探究的な学びにより「ふるさとの良さや魅力・課題」を認識し、ふるさとのために「何ができるのか」そのために「どうすればいいのか」そのために「何が必要か」などの当事者意識を育成する教育や「ふるさと教育」を学んでいることは将来必要な力が身につくことを理解させる教育の充実に向け、指導・助言等を行っていく。										
各年度の評価										
R3										
A										
R4										
A										
R5										
A										
R6										
A										

### 2次評価委員会からの評価・意見等

教職員や学校関係者の取組と理解により、ICT教育の推進など、教育環境は整備されてきた。「ふるさと教育」の実施も目標より多く実施され、ふるさとへ愛着を持つ児童生徒の割合が増加してきていますが、目標までは至っておらず、引き続き魅力ある教育環境の整備とキャリア教育の推進、地域全体で子どもを育む体制構築が必要です。将来に希望をもって子ども達が学習できるよう継続的な取組みを行う必要がある。